

○棚田を活かして地域活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	佐賀県伊万里市二里町 <small>いまりしにりちよう</small> 中田 <small>なかた</small>			
協定面積 27.2ha	田 (100%) 水稲・麦・大豆等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 572万円	個人配分			40%
	共同取組活動 (60%)	集落の各担当者の活動に要する経費		3%
		集落マスタープランの将来像を実現するための活動費		2%
		水路、農道等の維持・管理等に要する経費		9%
		農用地の維持・管理活動に要する経費		1%
		環境整備、機械購入等積立		44%
		事務費他		1%
協定参加者	農業者 44人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

中田集落は、兼業農家の多い集落であり、担い手不足が懸念されていた中で、地域の活性化を図るため、平成12年度から中山間地域等直接支払制度へ取り組んできた。

前期対策においては、棚田オーナー制を実施し都市住民との交流を行い、また、収穫祭の開催や集落内非農家と共同で農地法面へ彼岸花を植栽するなど多面的機能の増進に取り組み地域の活性化に努めてきた。さらに、水稲栽培においては、減農薬・減化学肥料の高付加価値型農業に取り組んできた。

今期対策においては、前期対策までの取組みを拡大しつつ、機械利用組合への農作業委託等も推進していくこととしている。

3. 取組の内容

- ・棚田オーナー制を実施し、都市住民との交流。
- ・地元小学生を対象に田植え・稲刈り体験を開催し、子どもたちの農業への関心を育む。
- ・収穫祭を開催し、地域住民との交流。
- ・減農薬・減化学肥料の高付加価値の米づくりを行い、棚田米のブランド化（佐賀県特別栽培農産物認証制度を活用）。
- ・機械利用組合への農作業委託の推進。



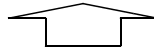
【彼岸花の開花風景】



【春の田植え祭り（棚田オーナー制）】

【集落の将来像】

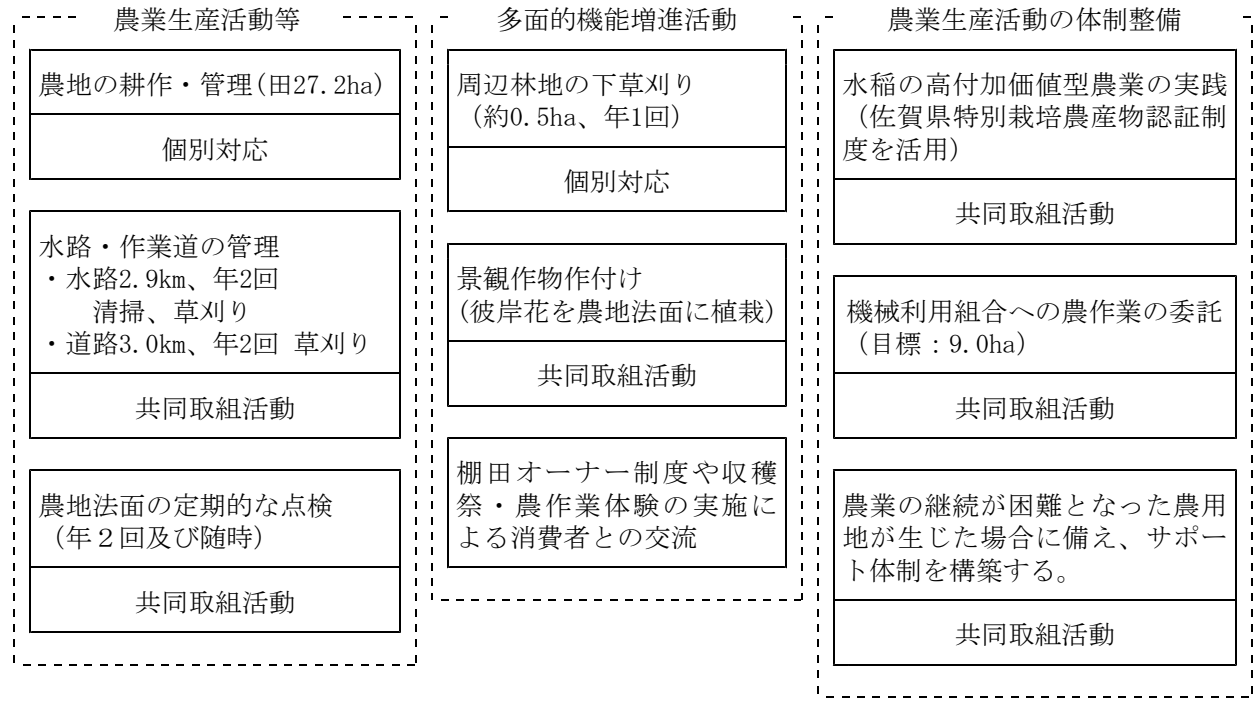
- 棚田オーナー制を活用した都市との交流・共生。
- 棚田の景観や収穫祭を活かした観光開発。
- 農作業委託や減農薬栽培を推進し、経費削減や省力化を図る。



【将来像を実現するための活動目標】

- 棚田オーナー制と併せて棚田米のPRを行う。
- 水稻の減農薬栽培面積の拡大。
- 農地法面に彼岸花を植栽し、景観形成を行う。
- 機械利用組合への農作業委託を推進する。

【活動内容】



4. 今後の課題等

高齢化が進行しているため、青壮年会や機械利用組合といった組織の活動を活発化させ、対応していく必要がある。また、話し合いの機会を増やし、収穫祭等の行事を集落ぐるみで行うなど集落の団結を強めていきたい。

【第2期対策の主な成果】

- 水稻の減農薬栽培による高付加価値型農業の実践 (H21実績:3.5ha)
- 地域及び都市住民との交流による地域の活性化
 - ・ 秋の収穫祭の参加者の増 (H18:100名、H19:130名、H20:150名)
 - ・ 棚田オーナー制度の実施 (H20: 7組30名 10a)